

第1回 日進市環境まちづくり評価委員会以降の修正箇所になります。

## 何をしたの？(R2年度の取り組み〈抜粋〉)

東部丘陵を源流とし、市の中心部を流れる天白川は私たちにとって身近な河川です。この天白川で、川に住む生き物から水質を調査する、「水生生物調査」を実施しました。水生生物調査は、毎年8月の第1木曜日に環境課と愛知中央ライオンズクラブとの共催で実施しており、令和2年度は、50名の参加があり、毎年人気のあるイベントです。

参加者は見つけた生き物の特徴や、どのような水質で生息できる生き物なのか、在来種と外来種の違いについてなど、熱心に講師の説明に耳を傾けながら、きれいな川を守っていく大切さを学びました。



### 生活排水を考えましょう

川や海の汚れは、台所・洗濯・風呂などの生活雑排水が主な原因となっています。

きれいな水環境を守るためには、日常での生活排水対策や浄化槽を正しく管理することが大切です。

合併浄化槽は、家庭から出る水の汚れの約90%を除去することができます。

単独浄化槽から合併浄化槽へ転換の際には、費用の一部を補助します。

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

[環境課 環境保全係]

TEL:0561-73-2843

## どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R2実績	長期目標 達成状況	長期目標【R5】
A1	河川のBOD平均値 (各河川測定地点値)	mg/L	2.8	3.0	達成	5以下
	生活排水処理率	%	83	91.4	未達成	93
A2	多自然型河川・親水公園等の整備箇所数	箇所	—	—	未達成	10
A3	水生生物調査延べ参加者数	人	575	1,157	未達成	2,000
A4	河川愛護団体数	団体	10	10	未達成	20
B1	ため池の数	箇所	44	40	未達成	現状維持
	1人1日当たりの水道使用量	L	233	235	未達成	210 (10%減)
B2	浄化槽雨水貯留施設転用補助数(累計)	世帯	75	78	未達成	108

## 何をしたの？(R2年度の取り組み＜抜粋＞)

日進市は、都市に隣接していながらも、天白川流域の平地に農耕地が広がり、東部丘陵など、自然が多く残されている地域があります。そんな緑が多く残る日進市ですが、近年では住宅地としての開発が進んでいます。その中で、生活の中で緑を増やす取組として、平成22年度から「緑のカーテンコンテスト」を開催しています。令和2年度は一般部門40件、公共施設部門37件からコンテストに参加があり、毎年人気の企画になっています。

緑のカーテンは夏を涼しく過ごせるだけでなく、二酸化炭素の削減やヒートアイランド現象の緩和にもつながります。参加者からは地球温暖化による気候変動について考えるきっかけになったとの意見が多数寄せられました。どの参加者も一緒に緑のカーテンの成長を楽しみながら、暑い夏を過ごし、環境意識の向上につながる効果がありました。



## どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R2実績	長期目標達成状況	長期目標【R5】
F1	大気汚染に係る環境基準適合率	%	100	100	達成	100
	エコドライブ宣言者数	人	0	925	未達成	4,000
	市所有自動車のエコカー導入率	%	57.8	51	未達成	100
F2	緑のカーテン延べ参加者数	人	558	1,108	未達成	2,000
F3	光害苦情処理件数	件	0	0	達成	0
F4	公害苦情処理件数(光害を除く)	件	125	107	達成	113
G1	市民一人あたりの公園面積	m <sup>2</sup>	9.0	8.5	未達成	10
G2	事業所数	件	2,383	2,057	未達成	2,350以上維持
G3	まちなみ保存地区数	地区	0	0	未達成	2
H1	幹線道路の歩道整備率	%	78.3	80.4	未達成	85
H2	道路緑化面積	m <sup>2</sup>	24,780	27,504	達成	26,000
H3	くるりんばすの一日あたり利用者数 (元中央線(名鉄バス)含む)	人	1,404	630 (864)	未達成	1,600

※大気汚染に係る環境基準適合率は、浅田町と五色園の大気測定データが環境省の基準を満たしているため達成となっています。

### ECO外出マップ

家庭から排出される二酸化炭素の約4分の1は自家用車から排出されます。

地球温暖化対策として、市民と市内に通う大学生などが協力して、徒歩や自転車といった地球にやさしい移動手段で市内を巡ることができる、エコ外出マップを作成しました。

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

[環境課 ESD推進係]

TEL: 0561-73-2896





## 何をしたの？(R2年度の取り組み＜抜粋＞)

環境に配慮した消費の仕組みの一つに、地産地消があります。地産地消は輸送による環境負荷を抑えるだけではなく、生産者との関係が近いため、購入者の安心感につながります。

これまでも日進市内では、あいち尾東農業協同組合(JA)やプライムツリー赤池にて産直野菜の販売が行われてきましたが、地域農業を活性化と地産地消の推進のため、市とセブン-イレブン・ジャパンの地域活性化包括連携協定に基づき、令和2年11月から市内2カ所のセブン-イレブンで地元野菜の販売をはじめました。現在は2店舗ですが、徐々に販売店舗を拡大し、日進全域に広げていく予定です。

この取り組みを地域の多くの人に知ってもらうため、12月5日(土)にセブン-イレブン日進北新町店において、「軽トラ野菜市」を開催しました。駐車場に並んだ地元農家さんの軽トラックの荷台には取れたての新鮮野菜が積み、立ち寄った多くの買い物客でにぎわいました。



## どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R2実績	長期目標達成状況	長期目標【R5】
I1	エコライフ宣言者数	人	0	1,803	未達成	3,000
I2	太陽光発電設備設置世帯割合	%	4.0	9.7	未達成	25
I3	市内3駅の乗降客数	人	37,590	数字は年末頃	未達成	54,000
I4	市役所環境保全のための行動計画達成率	%	84.1	80.5	未達成	100
I5	ISO14001取得事業者数 (エコアクション21取得者を含む)	社	21	29	達成	25
J1	環境配慮宣言店舗数	店	79	86	達成	向上
J2	フリーマーケット開催数	回	1	0	未達成	5
J3	リサイクル率	%	27.2	26.8	未達成	28.3
J4	1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	939	811	未達成	770
	不法投棄量	t	43	16	未達成	9

## 見える化ラベルを 作成しました

日常から二酸化炭素削減行動を意識してもらうため、卓上に置くことができる三角柱のポップを作成しました。

気軽に取り組める行動ばかりなので、エコアクションを実践してみてください。

見える化ラベルは、家庭向けと事業所向けの2種類を作成しています。

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

【環境課 ESD推進係】

TEL:0561-73-2896

